

《 I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 》

【建学の精神、教育理念について】

(1) 建学の精神・教育理念を記述し、その意味するところ及び建学の精神・教育理念が生まれた事情や背景をできるだけ簡潔に記述して下さい。

1. 建学の精神

明治の末年、本学園創立者市邨芳樹は名古屋の地に全国に先がけて女子の商業教育を興した。市邨が商業教育を実践するにあたり念頭においていたのは、「商業教育はつまり人物教育である」という理念である。市邨はそれを「一に人物、二に伎倆」という言葉に表し、次のように述べている。

「現代の日本において最も必要なのは「人」である。ただし、私が「人」というのはただ単に「人材」、「仕事ができる人」という意味ではない。私のいう「人」とは、円満に発達した常識を持ち、社会や人生に対して正しい理解があり、知識をもった人、技能をもった人であると同時に、まずもって、情けがあり、徳をももちあわせている人なのである。」

このように、知識や技能を身につけることはもちろんであるが、そのまえに、自らの人間性を高めることが先ず必要であると市邨は考えたのである。以来、本学園ではこの「一に人物、二に伎倆」を根本精神とし、人物中心の教育を実践してきた。

市邨は女子の商業教育を実践するにあたり、それまでの男子への商業教育とは違った女性としての教養、美德を養う必要があると考えた。そこで、教え子に対し「慈・忠・忍」という精神を備えるよう説いた。

「慈」とは他人を慈しみ哀れむ心。

「忠」とは自らの使命・天命に対し忠実である心。

「忍」とはどんな苦難・困難に対してもあきらめず耐え忍ぶ心。

もともとは、市邨が女性としての教養を念頭におき説いた教えであるが、この精神は男性、女性を問わず人が備えるべき根本精神であるので、現在でも校訓三則として本学園の学生・生徒が備えるべき徳の規範となっている。

市邨はまた商業教育を実践するにあたり、常に生徒個々人の個性を尊重することを重視した。市邨はその理念を「桜は桜、松は松であれ」と表し、各自が持ち合わせた才能を尊重し、これを育む教育を実践した。本学園ではこの「桜は桜、松は松」の精神を、学生・生徒個々人の個性を尊重する教育の根本としている。

市邨はさらに、われわれが毎日生きていく中で、その指針として心に刻み込むべき戒めを「今日六則」と表した。

一、日々自らを省みて、自らの立場を自覚する。

一、異性を尊重する心をもつ。

一、毎日の生活を楽しむ中で常に自己の発展創造をはかる。

一、自ら進んで社会奉仕をすることを心がける。

一、われわれ一人ひとりが自ら国を支えている自覚を持つ。

一、独立したそれぞれの国による国際協調が世界の進歩に必要である。

この六つの戒めを毎日毎日の「今日」実践する人のみが意義のある人生を送り成功者となれると市邨は考えた。この戒めは学生・生徒のみならず、本学園の教員・職員もまた日々を生きる上での戒めとして常にこれを心に刻み込んでいる。

◆『学生ハンドブック』参照

2. 名古屋経済大学短期大学部の教育理念

本学の教育理念は市邨学園建学の精神に則り、これを現代に活かすべく設定された。

本学の教育理念は「一に人物、二に伎倆」の言葉に集約される人物教育の理念を受け継ぐことをその中心にすえる。

われわれの目指す人物とは、「常識があり、社会人生に対する理解力があり、社会の実際を熟知する人、また、周りの人々を思いやり、社会奉仕の心を持ち、進んで困難に立ち向かい、日本の明日を担う人、そして、日々わが身を振り返り自らを磨く人」である。

本学は人物教育を行うために、机上の空論とは対極にある実学を追求するとともに、学生一人ひとりの個性と能力に即した弾力的な教育を旨とする。

以上を踏まえ、次のことを志している。

人類の知的遺産を重んじること。

国際的視野に立つこと。

名古屋を中心とする東海地域に根ざすこと。

学生の学習意欲をかき立てる、リアリティのある教育を行うこと。

個々人の学習意欲に即した満足度の高い教育を行うこと。

職業生活の実際に触れ、確固とした職業観、職業意識を養うこと。

職業人として必要な資質の涵養と技量の修得を促すこと。

生涯学習を志す多様な学生を集め、世代を超えた人々の相互教育の場をつくること。

学生相互、そして学生と教職員とが交流を深め、互いに支え合う関係をつくること。

学生の勉学生活を支えるために、快適な学習環境を整えること。

◆『学生ハンドブック』参照

(2) 現在は建学の精神・教育理念をどのような形や方法で学生や教職員に知らせているかを記述して下さい。

学園の建学の精神および短期大学部の教育理念はさまざまな機会を捉えて学生や教職員に知らせている。その主なものを挙げるなら以下の通りである。

1. 入学式や卒業式といった、毎年式典の際の学長告示
2. 『学生ハンドブック』（便覧）の冒頭に記載
3. 広報誌『名経大通信』に記事として掲載

4. 石碑「人としての人」（創立者市邨芳樹顕彰碑） [大学構内コミュニティプラザ南西角]
5. 壁掛け「今日六則」（創立者市邨芳樹生誕百周年記念） [大学構内2号館1階ロビー]
6. 市邨学園ウェブサイト「建学の精神」に掲載
7. 名古屋経済大学ウェブサイト「自己点検評価活動」「教育目標・教育理念」に掲載
8. 『市邨学園百年史』（平成19年9月発行）「第一部 市邨芳樹の建学の精神とその生涯」に記載

【教育目的、教育目標について】

(1)多くの短期大学が複数の学科・専攻(専攻科を含む。以下「学科等」という。)を設置しています。その場合、それぞれの学科等では建学の精神や教育理念から導き出された、より具体的な教育目的や教育目標を掲げているものと思います。(例えば、学科・専攻の設置認可の際に「設置の趣旨」等で示されたもの等)。ここではそれぞれの学科等が設定している具体的な教育目的や教育目標を記述して下さい。

1. 保育科の教育目標

保育科の教育目標は「豊かな人間性と実践力を備えた保育者の養成」である。

少子高齢化の進行に象徴されるように、幼児教育・福祉をとりまく近年の状況は保育科設立当初と比べ大きな変化をみせている。保育科では保育の基本を重視しながらも、こうした社会状況に柔軟に対応し、その教育機関としての使命を達成できるよう以下の目標の実現に向けて努力している。

(1)専門職としての実践力を身につける

これまでとは異なる新たな保育や福祉のあり方を模索し、「実践的な力」を備えた保育者を養成する。

(2)豊かな人間性を育成する

最近の子どもをめぐる問題は放置することのできない深刻なものが少なくない。自ら考え、判断し、他人を思いやる人間性豊かな子どもを育てることが、今こそ強く求められている。確かな倫理観と使命感を持ち、子どもたちの感動に共感できる人間性豊かな保育者として学生を社会に送り出す。

(3)調和の取れた社会人を育成する

保育に関する専門的な知識や技術を習得するとともに、調和の取れた考え方で人類の平和と福祉に貢献しうる社会人を育成することにも大きな価値を認めている。卒業後の長い人生の指針となるような、幅広い視野と高い見識の基礎を身につけることを重視する。

(4)生涯学習の意欲に応える

生涯学習のニーズに応えることは短期大学の社会的な責務である。現職の教諭・保育士の継続教育だけでなく、一般社会人を対象に広く門戸を開放して学習の機会を提供することもまた重要な課題である。

◆『学生ハンドブック』参照

2. キャリアデザイン学科の教育目標

キャリアデザイン学科の教育目標は「自らのキャリアを自らデザインする能力の養成」である。

21世紀の激動する世界にあって、日本に生きる者はさまざまな創意工夫とたゆまぬ努力が必要である。キャリアデザイン学科は、学生のさまざまな思いを正面から受け止め、自らの人生・職業（キャリア）を自ら設計（デザイン）する能力の養成を目指す。そのために以下の目標の実現に向けて努力している。

(1) 教養を身につける

現代とはどういう時代なのか、現代文明はどのようにして築かれたのか、知的に生きるとはということなのかを日々考えながら過ごすことは人生設計の基礎となるものである。そのため教養教育をさらに充実させていく。

(2) 職業観・職業意識を磨く

職業人として社会で高い評価を得るには、仕事への情熱、最後まで責任をもって仕事をやり遂げる責任感、困難に耐える意志力、そして豊かな人間関係を作り上げる能力が必要である。これらは、自らが職業人としていかに生きていくのかという、職業観・職業意識と深く結びついている。

(3) つきたい職業に即して学ぶ

職業人として社会で高い評価を得るには、自分の仕事に精通していることが必要である。さまざまな職業領域に関連する科目を用意し、学生の興味や関心に応えられるよう工夫していく。

(4) 職業人として必要なスキル（知識・技能）を身につける

職業人として高い評価を得るには、仕事を的確に処理するスキル（知識・技能）を身につけていなければならない。職業生活に役立つさまざまなスキル（知識・技能）を身につけられるような科目を配置し、多くの資格の取得を支援する。

(5) いろいろな学生を受け入れ生涯学習を支援する

現在、わが国では生涯学習を志す人が増大している。地域のさまざまな世代の人々に学習機会を提供し、老いも若きも、互いに切磋琢磨して学び合えるよう努める。

◆『学生ハンドブック』参照

(2)それぞれの学科等の教育目的や教育目標を、現在はどういう方法で学生や教職員に周知しているかを記述して下さい。

[保育科]

学生に対しては、入学式後に行われる新入生オリエンテーションでの学科長講話で周知される。さらに、入学直後通常授業開始前に実施される学外での「フレッシュマンセミナー」のプログラムとして教務委員会ガイダンスが設定されており、この中でも教育目的や教育目標を周知させている。教員に関しては、折に触れて学科会議の議題として取りあげ、全員の共通認識を確認している。

また、本学が運営するウェブサイト保育科独自ページを設け、その中で保育科の教育理念と目的ならびに教育目標を明記し、学生・教員のみならず広く一般社会にもその内容を公開している。

◆<http://www.nagoya-ku.ac.jp/college/hoiku/hoiku/index.html> 参照

[キャリアデザイン学科]

キャリアデザイン学科の教育目標は『キャリアデザイン学科履修ガイド』の巻頭に明示されている。この冊子は入学時に学生に配布され、教務委員会ガイダンス並びに履修指導の機会をとらえて、学科の教育目標を学生に説明している。また本学が運営するウェブサイトのキャリアデザイン学科の専用ページでも明示している。

◆『キャリアデザイン学科履修ガイド』参照

◆<http://www.nagoya-ku.ac.jp/college/careerdesign/index.html> 参照

【定期的な点検等について】

(1) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検が、定期的に行われている場合はその概要を記述して下さい。また点検を行う組織、手続き等についても記述して下さい。

本学では建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目標の点検を平成5年から6年にかけて行った。そして、これを踏まえ、平成10年から11年にかけて自己点検評価活動を本格的に行い、平成12年3月に自己点検評価報告書を刊行した。

しかし、その後、この見直し、点検を定期的に行ってこなかった。このたび認証評価を受けるにあたり、これを深く反省し、この見直し、点検を制度化し、本学の教育活動の基本にすえて取り組むこととした。その概要については「特記事項」に述べる。

(2) 建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目的や教育目標の点検及びそれらを学生や教職員に周知する施策等の実施について、理事会または短期大学教授会がどのように関与しているかを記述して下さい。

1. 理事会の役割

理事会は学園の建学の精神を学生や教職員、さらには社会に広く周知することに大きな関心を持っている。学長を兼務する理事長は、さまざまな機会をとらえて建学の精神に言及している。

また、理事会は節目ごとに記念事業として学園史を刊行し、創立者の建学の精神を顕彰している。学園創立100周年にあたり、平成19年9月、『市邨学園百年史』を刊行した。

さらに、平成17年2月には理事長を本部会議議長とする「大学運営戦略会議」が設立され、教職員一丸となって直面する諸課題に取り組むよう提起された。その際中心的に取り上げられたのが建学の精神の現代的な解釈であった。

◆『市邨学園百年史』参照

◆名古屋経済大学運営戦略会議規定 参照

2. 教授会の役割

短期大学部において建学の精神や教育理念の解釈の見直し、教育目標の点検を主導するのは短

期大学部自己点検評価委員会である。委員会は月に1回程度開かれ、そのつど検討内容が全教員の出席する定例教授会に報告され、審議される。

【特記事項について】

(1)この《I 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標》の領域で示した評価項目や評価の観点の他に、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標について努力していることがあれば記述して下さい。また短期大学で独自の使い方や別の語句を使っている場合はその旨記述して下さい。

1. 大学運営戦略会議の設立と取組み

平成17年2月、名古屋経済大学および名古屋経済大学短期大学部が直面する諸課題を全学的に抽出し、その改善策を検討するために、教職員が一体となった本学初の大学運営戦略会議が設立された。その第一分科会「長期経営計画策定ワーキンググループ」において、全学的討議の前提として、建学の精神、学風、ビジョン等を今日いかに定義すべきか検討が行われた。

建学の精神や基本理念は、学内において教職員は勿論、学生においても「既定の語句」として一定の理解がなされてきた。しかし、それらの語句が今の時点でどのように解釈されているか、さらに将来に向けてどのように発展させるべきかについて、これまで十分には検討されなかった。

そこで、ワーキンググループは、本学の将来進むべき方向を探る一環として、全教職員に対してアンケート調査を行い、「既定の語句」の理解の実態を把握しようと試みた。そして、その結果を次のように整理した。

(1)本学の建学の精神と目指すべき方向は「一に人物、二に伎倆」である。

「人物」像の現代的解釈

礼節を尊び、自主自立の意気に富み、実社会において責務を全うする人物

「伎倆」の内容の現代的解釈

社会人としての高い知識と専門能力及び時代への豊かな適応能力

(2)学風については「慈・忠・忍」をもってこれを表す。

(3)大学のビジョンについては「国際的視野からの地域貢献及び時代を担う構想力・技術力を体得した人物の育成」をかかげる。

◆平成17年7月 第8回長期経営計画策定WG会議議事録 参照

2. 短期大学部の取組み

短期大学部は大学運営戦略会議の提起を受けて、短期大学部の教育理念、両学科の教育目標の見直しを実施し、その内容を一新した。

◆平成17年10月教授会議事録 参照

◆平成18年11月教授会議事録 参照

短期大学部はまた、自己点検評価委員会規程を見直し、第2条に「委員会は、本学の教育研究活動等の状況について、自己点検及び自己評価を行い、その結果を定期的に公表する。委員会は、

自己点検・評価を行うに当たり、本学の教育理念及び教育目標の見直しを全学に提起し、これを主導する。」と定めた。

◆平成 19 年 9 月教授会議事録 参照

(2) 特別の事由や事情があり、評価項目や評価の観点が求めることが実現(達成)できないときはその事由や事情を記述して下さい。

とくになし。